

絵本 はじめての

親と子が楽しむ

絵本を選ぶために

とっておきのアドバイス

あかちゃんには、いろいろなあそびが必要です。声をかけて、からだにふれて、いっしょにおもちゃであそび、そして絵本を見ながらおはなしもする。ここでは絵本をとりあげて、0、1、2歳児のための絵本の選び方や、保護者の方の接し方などを広く解説しました。ご紹介している絵本や説明はあくまでも参考です。一人ひとりのお子さんの興味や反応にあわせて、親子で絵本を楽しんでください。





●『きゅっ きゅっ きゅっ』

〈くつつくつ あるけのほん〉

林 明子／さく 福音館書店

おいしいスープがこぼれました。

きゅっきゅっきゅっとういてあげます。

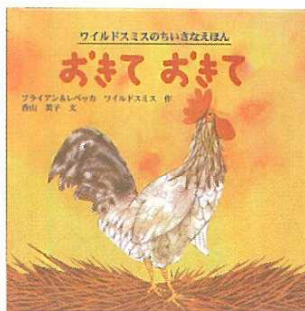


●『いいな いいな』

〈こどものとも 0. 1. 2.〉2003年11月号

かたやま けん／さく 福音館書店

ぶうちゃんが、いぬ、うさぎ、いんこ、あひる、ぶたと、からだのいろいろなところをさわりっこして、たのしくあそびます。



●『おきて おきて』

〈ワイルドスミスのちいさなえほん〉

ブライアン&レベッカ ワイルドスミス／作
香山 美子／文 フレーベル館

おんどりがあひるをおこし、あひるはひつじをおこし、ひつじはやぎをおこします。

さいごはみんなであさごはん。



●『おやすみあかちゃん』

〈主婦の友はじめてブックシリーズ〉

高林 麻里／作 細江 幸世／構成・編集
主婦の友社

あかちゃんがベッドにはいるまえに、かぞくのみんなど「おやすみなさい」をします。

親子で絵本を
楽しめるのはいつ？

生後4ヶ月くらいからすこずつ楽しめます。あかちゃんとのふれあいに絵本でおはなしをしてみてください。じっとみつめてくるでしょう。絵本を見ながら話しかけ、あかちゃんとのひとときを楽しみませんか？

絵本には
どんな特徴があるの？

絵本の絵は実物そのものではありませんが、絵を見ながら「リンゴよ」などことばがかけられると、あかちゃんは実際のリンゴを想いおこします。想像力を育てるのに、絵本がひとつの助けになってくれます。





「うた」



●『おはよう』〈あかちゃんのほん〉

まつい のりこ／さく 偕成社

「おはよう」からはじまって
ごはんをたべて、いっぱいあそんで
「おやすみなさい」。



●『あかちゃんのうた』

〈松谷みよ子あかちゃんの本〉

松谷 みよ子／著 いわさきちひろ／絵 童心社

「おむつをかえましょう」「うさぎ」など
あかちゃんにかたりかけるうたがいっぱい。



●『したく』〈あかちゃんのえほん〉

ヘレン・オクセンバリー／作 文化出版局

シャツをきて、くつしたをはいて、うわぎを
きて、おでかけのしたくができました。



●『どうよう (ぞうさん)』

〈あかちゃんのためのえほん〉

いもと ようこ／絵 講談社

「ぞうさん」「ちょうちょう」「どんぐりこ
ころ」など、よく知っているどうように
きょうもついています。

子どもは絵本のどこを楽しむの？

1 モノ・場面と絵・ことばを 結びつける



最初は、スプーン、コップなど、知っ
ているモノを絵の中にみつけて喜
びます。すこしことばが話せるよう
になるとそのモノの名前を言ったり、
実物を持ってきて「おんなじ」という
ように、みくらべたりもします。

2 自分であつかう

はじめのうちはペロペロなめたりか
じったり、やがてページをめくる、と
いうことを覚えます。絵を見てことば
を聞きながら、自分なりにいろいろと
絵本をあつかって喜びます。

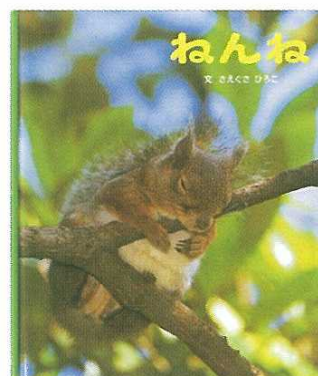




●『ねんね』

さえぐさ ひろこ／文 細川 佳／デザイン
アリス館

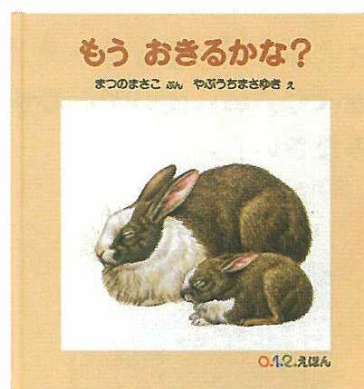
キツネ、ライオン、ゴリラ、シロクマ、
コアラなど、いろいろなどうぶつたちが、
きもちよさそうにねむっています。



●『もう おきるかな』

まつの まさこ／ぶん やぶうち まさゆき／え
福音館書店

どうぶつのこどもたちが、つぎつぎに
めをさまし、おきあがります。



●『ねこ』

〈はじめての しかけずかん〉
La ZOO／構成・デザイン 今泉 忠明他／監修
高橋 和枝／絵 森田 米雄他／写真
学習研究社

ねこくんが ふくろのなかから
ぬけだして さんぽにでかけます。
とびついたり きのぼりしたり。



3 おとなといっしょの時間が 楽しい

子どもにとって、絵本をなかだちにして自分だけの相手をしてもらえるのもうれしいことです。おとなの声かけに、「オッ」とか「ウッ」などと、からだで反応してくるでしょう。おとなはことばを使い、子どもは声や表情・からだを使って心を通わせる、これが絵本の魅力のひとつです。

どんな絵本を選ぶか?

1 内容と題材



子どもの身近なモノや、食べる・寝る・顔をあらう・あそぶ・着替えるなどの動作、おでかけ・おきやくさま・びょうきなどの身近なできごとがとりあげられていると、よくわかるので喜びます。



●『ずかん・じどうしゃ』〈福音館の幼児絵本〉

山本 忠敬／さく 福音館書店

スポーツカー、トラック、バス、はしごしゃ
パトロールカー、いろいろなくるまが
せいぞろい。



●『のせて のせて』〈松谷みよ子あかちゃんの本〉

松谷 みよ子／文 東光寺 啓／絵 童心社

まこちゃんのじどうしゃに、くま、うさぎ
ねずみがつぎつぎにのります。
みんなでどこにいくのかな？



●『がたんとん がたんとん』

〈福音館あかちゃんのえほん〉

安西 水丸／さく 福音館書店

「のせてくださーい」とコップやスプーン
リンゴやバナナ、ネコにネズミも
やってきました。



2 表現

〔絵〕

なるべく実物に近い形で、子どもが
ふだんみなれた角度から、全体が
わかるように描かれているとよいで
しょう。

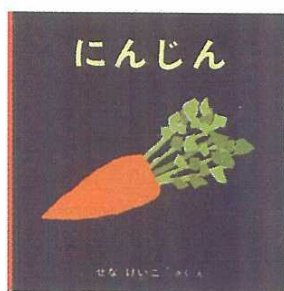
ただ、あまりに簡略化されたり、また
は細かすぎる絵では、特徴がとらえ
られません。

〔文章〕

あかちゃん対象の絵本は、文章の
ないものも多いのですが、文章があ
る場合は、子どもがまねしやすく、お
となが声に出して読みやすい、リズ
ミカルなことばや文章がよいでしょう。



「たべもの」



●『にんじん』 〈いやだいやだの絵本〉

せな けいこ／さく・え 福音館書店

「にんじんの すきなこ だあれ」 うまやきりん
うさぎ、ぞうも、みんなやってきました。



●『くだもの』 〈福音館の幼児絵本〉

平山 和子／さく 福音館書店

すいかをきって「さあどうぞ」
もものかわをむいて「さあどうぞ」。

「いろ・かたち・おと」



●『ころころころ』 〈幼児絵本シリーズ〉

元永 定正／さく 福音館書店

ちいさなたまが、ころころころとこがります。
かいだんをころころ、でこぼこみちをころころ。



●『なにいろ?』

〈くもんのはじめてのえほん②〉

本信 公久／作 くもん出版

あかいトマト、あおいふうせん
きいろいちょうちょなど
ぜんぶで 10 のいろがせいぞろい。

3 本の造り

「扱いやすい」

子どもが扱いやすい大きさや重さであることも楽しめる要素です。まず、幼い子どもが持ったり抱えたりしやすい大きさで、めくるのにつまみやすい厚さ、軽めの造り、ひっぱっても簡単にはやぶれない用紙がよいでしょう。本は何度も開閉するので、綴じの部分がしっかりしていることも必要です。

「安全性」

本を投げたり、ふりまわしたりして、本のカドを自分自身にぶつけてケガをすることもあります。用紙が薄くて手を切ることもあります。厚手の用紙、または布のように柔らかい用紙で、本のカドが丸く、汚れがふきとれるようにコーティングがしてあると安心です。





●『りんご』〈母と子のえほん〉

松野 正子／ぶん 鎌田 暢子／え 童心社
あか、きいろ、ピンクのまあるいりんごを
むいて、きって、たべて「ああ おいしい」。

「あそび」



●『いないいないばあ』

〈松谷みよ子あかちゃんの本〉
松谷 みよ子／文 瀬川 康男／絵 童心社
ねこ、くま、ねずみ、のんちゃんもみんな、
「いないいないばあ」をしてあそびます。



●『じゃあじゃあ びりびり』

〈まついのりこあかちゃんの本〉
まつい のりこ／作・絵 偕成社
じどうしゃはぶーぶー、みずはじゃあじゃあ、
かみはびりびり。いろいろなおとがきこえて
きます。



●『おてて ぱちぱち』

〈あまんきみこのあかちゃんえほん〉
上野 紀子／え あまん きみこ／さく ポプラ社
ねずみさん、うさぎくん、きつねちゃん、
くまさん、あっくんもいっしょに
おててぱちぱち。じょうずにできた。

こんなときはどうしたらいい？

＊読んでも反応がない

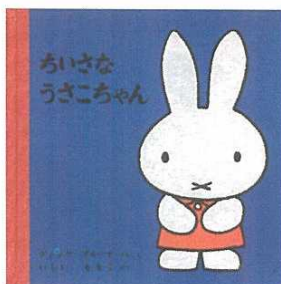
特別な興味がない限り、すぐに反
応がないときもあります。あわてず
ゆっくり読みましょう。聞いていな
いようでも心にしみこんでいること
もあります。いっしょに絵本を楽し
みましょう。

＊本を口に入れたり、
ビリビリやぶる

おとなの本の持ちかたをみならって、
だんだん本らしくあつかえるようにな
ります。子どもの様子にあわせて、
口に入れたりやぶったりしてはい
けないことをやさしく教えましょう。



「ものがたり」のはじまり



●『ちいさなうさこちゃん』

〈子どもがはじめてであう絵本〉

ディック・ブルーナ／ぶん・え 石井 桃子／訳
福音館書店

「あかちゃんがおうまれになって
おめでとう」ちいさなうさこちゃんをみに
どうぶつたちがやってきました。



●『きゅうりさんととまとさんとたまごさん』

〈あかちゃんのおいしい本〉

松谷 みよ子／ぶん ひらやま えいぞう／え
童心社

きゅうりさんと、とまとさんと、たまごさんが、
くつにのって、みずのなかを、すいすい、
ちゃぶちゃぶ。



●『こぐまちゃんおはよう』

〈こぐま社の創作絵本〉若山 憲／著 こぐま社
こぐまちゃんは、かおをあらってごはんを
たべて、いっぱいあそんでねむります。



●『たまごのあかちゃん』〈幼児絵本シリーズ〉

かんざわとしこ／ぶん やぎゅうげんいちろう／え
福音館書店

にわとり、かめ、へび、ペンギン、
きょうりゅうのあかちゃんが、たまごのなかから
「こんにちは」とでてきました。

*どうやって読んだらよいか わからない

たいせつなのは、読む人がその絵
本を好きになることです。読む人が「お
もしろい」と思うと、自然に読み方や
おはなしの仕方がじょうずになって
きます。一字一句そのまま読まなく
ては、と気にする必要ありません。
子どもの反応をみながら読みましょう。
まずは、絵本をなかだちにして、子ど
もとたくさんおはなしをしてください。



大阪府立国際児童文学館や大阪府立中央図
書館では、さわる絵本や点字絵本、外国語の
絵本などが利用できます。

(大阪府立中央図書館
<http://www.library.pref.osaka.jp/>)

発行：(財)大阪国際児童文学館

URL <http://www.iiclo.or.jp/>

TEL 06-6876-8800

FAX 06-6876-8686

〒565-0826 吹田市千里万博公園10-6
平成17(2005)年3月 改訂